

# 令和5年度(2023年度)事業計画

施設長 魚谷康洋

## 法人理念

「感謝」と「奉仕」と「誇り」の精神を希求しよう

## 運営方針

- ・その人らしく(その人が望む)日常生活を営むことが出来るよう支援します
- ・専門職としての誇りを持ち、利用者の意思・人格・尊厳を尊重し誠実に向き合います
- ・地域における公益的な取り組みを、積極的に行います

## 法人ビジョン

- ・他が拒否する人も、受け入れられる
- ・入居者一人一人と向き合う

## 施設事業計画

### (リスクマネジメント)

職員で構成する事故防止委員会を中心に事故発生状況の分析や再発防止策を検討します。又、事故防止に関する職員研修計画を立案します。

新型コロナウイルス感染者数も減少してきておりますが、まだまだ油断はできません。令和4年8月にはくぬぎ荘でクラスターが発生いたしました。感染対策については感染対策委員会を中心に感染予防策の検討や職員研修内容の検討をしていきます。

事故防止と感染症対策は入居者の命に係わる重要なものでありますので、入居者の皆様やご家族が安心できるような組織作りを行っていきます。

### (法令遵守)

くぬぎ荘の運営には社会福祉法、老人福祉法、介護保険法、労働基準法等の様々な法令が関係します。健全な法人運営の継続の為、法令遵守に今まで以上に力を入れていきたいと思っております。令和4年度は法令等で実施が義務付けられている研修や会議が新型コロナウイルス感染予防のため開催できなかったものがあります。令和5年度は年間計画に基づきこれらの研修等を確実に実施していきます。

### (権利擁護)

入居者への虐待に関するニュースを見る度に同業者として非常に心が痛みます。しかし、他人事と思わず、くぬぎ荘でも虐待が発生する可能性が常にあると想定し、虐待に発展しないような予防策を講じる必要があります。僅かな虐待の兆候を見逃さないこと、職員研修を通して虐待防止について職員に教育をしていきます。また、プライバシーに配慮やした介護サービスの提供についても周知します。現在、身体拘束をしているケースはありませんが、これからも身体拘束をせず、入居者の安全が確保できるよ

うに努力していきます。

#### **(機能訓練)**

日常生活の中で現在のADLや認知機能を一日でも長く維持できるように機能訓練を実施していきます。日常の何気ない動作の中に身体能力や認知機能を維持できるような取り組みを行っていきます。

#### **(地域貢献)**

ユトリック団地に隣接している立地を生かし、近隣住民の方に「くぬぎ荘が近くあって良かった」「くぬぎ荘があるから安心です」と言っていただけるように地域の方とのつながりを大切にし、交流を図っていきたいと思います。新型コロナウイルス感染予防で交流の機会を作ることが難しい時期が続きましたが、最近の感染状況はかなり落ち着いてきておりますので、令和5年度は地域交流を積極的に行っていき、地域の貢献できる法人になれるように尽力していきます。

#### **(経営の安定)**

健全な運営のためにも安定した利用料収入が必要です。令和4年度は一時期満床の一步手前まで行きましたが、入院や退居等もあり、計画していた稼働率には到達できませんでした。令和5年度は経営状況が安定のために入院期間の短縮や空床期間の短縮のために待機者の確保に努めて参ります。

#### **(環境整備)**

生活環境や労働環境の面から常に清潔で整頓された環境は大切です。また心の乱れは室内の乱れに繋がります。綺麗な環境で毎日過ごすことが、入居者と職員の精神面や身体的にも大事なことだと受け止め、令和5年度は計画的に環境整備の時間を業務に組み入れ、常に清潔で整頓された環境で入居者の皆様や職員が過ごせるようにしていきます。